

医学科教育学修プログラム

平成30年度後期

2年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

平成30年度 授業時間配当表(医学科2年次)

後 期(15)

	Ⅲブロック(4)														
	Ⅰブロック(6)						Ⅱブロック(5)								
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	病理学総論	社会環境医学	病理学総論	病理学総論		病理学総論	社会環境医学	病理学総論	病理学総論		基礎医学特論	社会環境医学	基礎医学特論	病理学総論	基礎医学特論
2	心理学	医療英語Ⅱ	社会環境医学	病理学総論	主題/人文・社会	心理学	医療英語Ⅱ	社会環境医学	病理学総論	主題/人文・社会	心理学	医療英語Ⅱ	社会環境医学	病理学総論	主題/人文・社会
3	解剖学実習	ヒューマンコミュニケーションⅡ	解剖学実習	解剖学実習	解剖学実習	解剖学実習	基礎医学実習	解剖学実習	基礎医学実習	解剖学実習	病理学総論	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習
4	解剖学実習	ヒューマンコミュニケーションⅡ	解剖学実習	解剖学実習	解剖学実習	解剖学実習	基礎医学実習	解剖学実習	基礎医学実習	解剖学実習	病理学総論	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習
5															

※配当表のとおり実施できない科目がありますので、シラバスを確認すること。

※5限目等で補講を行う。休講補講等の通知は掲示板で行うので確認すること。

※主題等は、「医療手話」、「社会福祉援助論」、「生活と法律 刑法」、「芸術」、「哲学・倫理学」です。

15週制

平成30年度・七曜表

(医学科2年次)

	前 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
4	1	2	3	4	5	6	7	1
	8	9	10	11	12	13	14	2
	15	16	17	18	19	20	21	3
	22	23	24	25	26	27	28	4
	29	30	1	2	3	4	5	5
5	6	7	8	9	10	11	12	6
	13	14	15	16	17	18	19	7
	20	21	22	23	24	25	26	8
	27	28	29	30	31	1	2	9
6	3	4	5	6	7	8	9	10
	10	11	12	13	14	15	16	11
	17	18	19	20	21	22	23	12
	24	25	26	27	28	29	30	13
7	1	2	3	4	5	6	7	14
	8	9	10	11	12	13	14	15
	15	16	17	18	19	20	21	16
	22	23	24	25	26	27	28	試験
8	29	30	31	1	2	3	4	再 試
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
9	26	27	28	29	30	31	1	
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
30								

	後 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
10		1	2	3	4	5	6	1
	7	8	9	10	11	12	13	2
	14	15	16	17	18	19	20	3
	21	22	23	24	25	26	27	4
	28	29	30	31	1	2	3	5
11	4	5	6	7	8	9	10	6
	11	12	13	14	15	16	17	7
	18	19	20	21	22	23	24	8
	25	26	27	28	29	30	1	9
12	2	3	4	5	6	7	8	10
	9	10	11	12	13	14	15	11
	16	17	18	19	20	21	22	12
	23	24	25	26	27	28	29	13
1	30	31	1	2	3	4	5	試験
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
2	27	28	29	30	31	1	2	
	3	4	5	6	7	8	9	再 試
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	1	2		
3	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
	31							

備考

- ◇ 5月1日(火) 月曜日授業
- ◇ 5月2日(水) 金曜日授業
- ◇ 6月1日(金) 開学記念日
- ◇ 未定 (6/9) TOEIC ※
- ◇ 7月23日(月) 定期試験期間開始
- ◇ 8月3日(金) 定期試験期間終了
- ◇ 9月14日(金) 再試験期間開始
- ◇ 9月28日(金) 再試験期間終了
- ◇ 未定 (12/8) TOEIC ※
- ◇ 12月27日(木) 月曜日授業
- ◇ 1月15日(火) 月曜日授業
- ◇ 1月16日(水) 金曜日授業
- ◇ 1月18日(金) 午後は休講
- ◇ 1月28日(月) 定期試験期間開始
- ◇ 2月8日(金) 定期試験期間終了
- ◇ 2月12日(火) 再試験期間開始
- ◇ 2月27日(水) 再試験期間終了

※TOEICは応用英語で高橋クラスは必ず受験してください。

月曜授業
 火曜授業
 水曜授業
 木曜授業
 金曜授業

医学科2年次目次

後期

	区分	授業科目名	
選択	主題	医療手話 1年次参照
選択	主題	社会福祉援助論 1年次参照
選択	基幹(人文・社会)	生活と法律 刑法 1年次参照
選択	基幹(人文・社会)	芸術 1年次参照
選択	基幹(人文・社会)	哲学・倫理学 1年次参照
必修	基幹(人文・社会)	心理学 1
必修	基幹(実験演習)	ヒューマン・コミュニケーションⅡ 2～3
	外国語	医療英語Ⅱ(ウィルシャークラス) 4
必修	外国語	医療英語Ⅱ(戸野クラス) 5
	外国語	医療英語Ⅱ(ジアディーンクラス) 6
必修	専門科目	解剖学実習 7～9
必修	専門科目	病理学総論 10～12
必修	専門科目	社会環境医学 13～14
必修	専門科目	基礎医学実習 15
必修	専門科目	基礎医学特論 16

※選択科目:選択、選択必修科目:選必、必修科目:必修は平成29年度入学者を基準としています。

※医療英語は、クラス分けを發表しますので、確認ください。

※主題、基幹(人文・社会)から4年次終了までに16単位以上修得してください。

※○は、公開授業講座となり、一般の方が講義を受講されることがあります。

授業のレベルについて

1:入門及び初級レベル

2:中級レベル(基礎科目)

3:中級～上級レベル(応用科目)

4:上級レベル(発展科目)

5:大学院レベル

心理学

科目到達目標:心理学の基礎をふまえて、より深い人間理解が可能な知識を習得する。

科目責任者(所属教室):兼子 幸一(精神行動医学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/1(月)	2	121	医学的心理学	菊池 義人	臨床心理学	心理学の基本概念について概説できる。	心理学の歴史、発展
2	10/15(月)	2	121	認知心理学	朴 盛弘	精神行動医学	認知心理学の概要について説明できる。	視覚認知、錯覚、順応
3	10/22(月)	2	121	発達心理学1	菊池 義人	臨床心理学	人間の心理的な発達について、理解し説明できる。	認知・思考・情緒・愛着・母子関係・社会性の発達
4	10/29(月)	2	121	感覚、知覚	岩田 正明	精神行動医学	脳機能における知覚の機能を説明できる。	知覚、連合学習
5	11/5(月)	2	121	記憶	松村 博史	精神科	脳機能における記憶の機能を説明できる。	海馬、空間
6	11/12(月)	2	121	高次神経機能	朴 盛弘	精神行動医学	高次神経機能障害及びその検査法について説明できる。	注意、記憶、遂行機能、ワーキングメモリー
7	11/19(月)	2	121	情動	岩田 正明	精神行動医学	情動と自律神経系、記憶との関係を説明できる。	情動、扁桃体、条件付け学習、視床下部
8	11/26(月)	2	121	心理テスト1(知能・発達)	井上 雅彦	臨床心理学	知能・能力とその査定法について説明できる。	知能検査、知能指数、適応行動、知的障害、発達障害
9	12/3(月)	2	121	心理テスト2(人格特性)	最上 多美子	臨床心理学	人格とその査定法について説明できる。	性格類型、人格検査、評価尺度
10	12/10(月)	2	121	発達心理学2	兼子 幸一	精神行動医学	ピアジェの発達理論、エリクソンのライフサイクル理論、社会認知機能の発達	ピアジェの発達理論、エリクソンのライフサイクル理論、社会認知機能(心の理論、感情認知、共感性)
11	12/17(月)	2	121	産業心理学	井上 雅彦	臨床心理学	労働環境の中で生じるストレスとその対処、予防、支援者の役割について概説できる。	ストレス、自殺予防、組織行動マネジメント
12	12/27(木)	2	121	精神療法概論2(行動療法)	井上 雅彦	臨床心理学	学習理論と行動療法の原理・技法について説明できる。	学習、条件付け、応用行動分析、機能分析、行動療法
13	1/7(月)	2	121	精神療法概論1(精神力動論1)	菊池 義人	臨床心理学	精神療法の歴史と力動的な精神療法の原理・技法について説明できる。	フロイト、ユング、自由連想法、対象関係論、病態水準論
14	1/15(火)	2	121	精神療法概論3(認知行動療法)	最上 多美子	臨床心理学	認知行動療法の原理・技法、また生活技能訓練や心理教育への応用について説明できる。	認知行動療法、心理教育、生活技能訓練
15	1/21(月)	2	121	精神療法概論4(精神力動論2・その他)	菊池 義人	臨床心理学	力動的な精神療法の発展、及び新たな精神療法の流れを説明できる。	パーソンセンタードアプローチ、ロゴセラピー、システムズアプローチ、家族療法、短期療法、集団精神療法

教育ブランドデザインとの関連:1、2、3、7

学位授与の方針との関連:1、2、3

授業レベル:1

評価:定期試験

ヒューマン・コミュニケーションⅡ

科目到達目標: 基本的マナーを習得する, 共感に基づいた対人関係を理解する, コミュニケーションの実践に関して思考し議論する

科目責任者(所属教室): 角南 なおみ(学部教育支援室) 連絡先: 医学教育総合センター: 6438

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1・2	10/2(火)	3・4	122	○アンケート ○オリエンテーション ○ナラティブ・ベイスト・メディスンの理解と習得	角南なおみ	医学教育学	○実習において適切なマナーを確認する ○高齢者との関わりについて理解する ○ナラティブ・ベイスト・メディスンの理論と方法を習得する ○グループディスカッションを通して協同の在り方を学ぶ	○ナラティブ・ベイスト・メディスン ○対話 ○コミュニケーション ○グループディスカッション
3・4	10/9(火)	3・4	122	○こうほうえん施設関係者説明 ○実習について最終確認 ○ヒューマン・コミュニケーション実習に向けて ○パートナー決定 ○パートナーへのメッセージシート	角南なおみ	医学教育学	○高齢者の心理社会的相互作用について学ぶ ○パートナーとの関わりについて思考しディスカッションする ○訪問先の施設の特徴を理解する	○コミュニケーション ○グループディスカッション
5・6	10/16(火)	3・4	実習	○施設見学、パートナーとご対面 ○ヒューマン・コミュニケーション実習「こうほうえん施設等にて」(パートナーと継続的な関わり体験1回目)	角南なおみ	医学教育学	○関係性の形成を体験から学ぶ ○適切なマナーを習得する ○パートナーの語りを丁寧に聴き取る ○省察とディスカッションの過程で自己表出ができる	○関係性形成 ○省察 ○グループディスカッション
7・8	10/23(火)	3・4	122	○関わり体験前半の省察 ○プロフェッショナルリズム ○医師と患者のコミュニケーション	角南なおみ 孫大輔	医学教育学 (非常勤講師)	○関わり体験前半のパートナーのナラティブについて考察する ○関わり体験前半における自己省察をグループディスカッションにより深める ○プロフェッショナルリズムを学ぶ(双方向的対話とディスカッション) ○講師の家庭医としての経験をふまえて、患者とのコミュニケーションの技法と哲学について学ぶ ○患者のナラティブに耳を傾けることの意味を理解する	○患者中心の医療の方法 ○ナラティブ ○共感 ○多職種連携 ○ダイアログ
9・10	10/30(火)	3・4	実習	○ヒューマン・コミュニケーション実習「こうほうえん施設等にて」(パートナーと継続的な関わり体験2回目)	角南なおみ	医学教育学	○関係性の形成を体験から学ぶ ○適切なマナーを習得する ○パートナーの語りを丁寧に聴き取る ○省察とディスカッションの過程で自己表出ができる	○関係性形成 ○省察 ○グループディスカッション

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
11-12	11/6(火)	3・4	実習	○ヒューマン・コミュニケーション実習「こほうえん施設等にて」(パートナーと継続的な関わり体験3回目)	角南なおみ	医学教育学	同上	同上
13-14	11/13(火)	3・4	実習	○ヒューマン・コミュニケーション実習「こほうえん施設等にて」(パートナーと継続的な関わり体験4回目)	角南なおみ	医学教育学	同上	同上
15	11/20(火)	1	122	○グループディスカッション ○ヒューマン・コミュニケーション実習におけるナラティブ分析と関わり体験の発表 ○アンケート	角南なおみ	医学教育学	○パートナーのナラティブの分析及び関係性形成のプロセスを体系的に整理し他者に伝える ○省察とディスカッションの過程で自己表出ができる	○ナラティブ分析 ○自己体験過程の表現 ○省察 ○グループディスカッション

教育ブランドデザインとの関連:1, 2, 4, 6,

学位授与の方針との関連:2, 4, 6

授業レベル:4

評価:受講態度50%, レポート50%

教科書:配布資料 その他:無遅刻・全出席が単位認定の条件であるため体調管理に十分な注意を払うこと

医療英語Ⅱ(ウイルスシヤークラス)

科目到達目標: Being a Good Medical English Speaker.

科目責任者(所属教室): タイム・ウイルスシヤー(基礎看護学)

連絡先: 0859-38-6301 Email: timw@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
1	10/2(火)	2	112	Introduction	ウイルスシヤー	基礎看護学	Self-Introduction	hometown, first/given/"Christian" name, last/family name, hobbies/interests
2	10/9(火)	2	122	Lesson 1	ウイルスシヤー	基礎看護学	Life Expectancy	fiber, high-fiber, obesity, willpower, positive thinking, worthless, calorie, confidence
3	10/16(火)	2	112	Lesson 2	ウイルスシヤー	基礎看護学	Cancer Prevention	nitrite-cured, cigarette, overweight, brown rice, sunbathing, wart, mole, hoarseness, lump
4	10/23(火)	2	112	Lesson 3 小テスト1	ウイルスシヤー	基礎看護学	Smoking	(slow) suicide, pack(s), carbon-monoxide, abnormal, smoking ban, continual, indigestion
5	10/30(火)	2	112	Lesson 4	ウイルスシヤー	基礎看護学	Passive Smoke	non-smoker, warning label, impotent, emphysema, ulcer, inhale, ruin, smelly, smoker's paradise
6	11/6(火)	2	112	Lesson 5	ウイルスシヤー	基礎看護学	Exercise	merit, capacity, neglect, boring/bored, aerobics, superior, jogging
7	11/13(火)	2	112	Lesson 6	ウイルスシヤー	基礎看護学	Healthy Food	attractive, energetic, cholesterol, nutritious, habit, eliminate, green tea, brown bread
8	11/20(火)	2	112	Lesson 7 小テスト2	ウイルスシヤー	基礎看護学	Alcohol	alcoholic, drunkenness, chugging (bottoms up), coordination, cerebellum, intestines
9	11/27(火)	2	112	Lesson 8	ウイルスシヤー	基礎看護学	Stress	relax, worry, chemicals, colleague, ruin, nicotine, stubborn, naïve, tolerant, moody
10	12/4(火)	2	112	Lesson 9	ウイルスシヤー	基礎看護学	Obesity	slim, diabetes, self-control, westernized, willpower, consumption, overeater, circulatory system
11	12/11(火)	2	112	Lesson 10	ウイルスシヤー	基礎看護学	Dental Care	fluoride, tartar, decay, bacteria, particle, enamel, cavity, floss, citrus, waxed, plaque, prevention
12	12/18(火)	2	112	Lesson 11 小テスト3	ウイルスシヤー	基礎看護学	AIDS	HIV virus, immune system, iceberg, prejudice(-free), condom, fatal, anonymous, intercourse
13	12/25(火)	2	112	発表/オーラル面接	ウイルスシヤー	基礎看護学		
14	1/8(火)	2	112	発表/オーラル面接	ウイルスシヤー	基礎看護学		
15	1/22(火)	2	112	発表/オーラル面接 Final Assessment	ウイルスシヤー	基礎看護学		

教育グラウンドデザインの関連: 1, 2, 4

学位授与の方針との関連: 2, 4

授業のレベル: 2

評価: 定期試験 40%

参加 15%, 発表/オーラル面接 15%, 小テスト (3個) 30%

教科書: Healthtalk - 3rd Edition, MacMillan Languagehouse, 2014. 注意: Scheduling of units in the book and choice of materials are subject to change.

医療英語Ⅱ(戸野クラス)

科目到達目標:医療現場で英語のやり取りができるようになる。医療に関連した英文読解、英作文。

科目責任者(所属教室):戸野 康恵(非常勤講師)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/2(火)	2	261	Hospital departments	戸野 康恵	非常勤講師	病院の診療科、医療従事者を知る。	department, specialist, healthcare professionals
2	10/9(火)	2	261	Check-up	戸野 康恵	非常勤講師	検査の目的、適切な使用について説明する。	medical procedures, ultrasound, radiation
3	10/16(火)	2	261	Vaccination	戸野 康恵	非常勤講師	予防接種の重要性について説明する。	vaccine, childhood diseases
4	10/23(火)	2	261	Organs	戸野 康恵	非常勤講師	臓器の名称と働きを知る。	organs
5	10/30(火)	2	261	Food and health	戸野 康恵	非常勤講師	健康と食事の関係について説明する。	fats, cholesterol, carbohydrates, health problems
6	11/6(火)	2	261	Stroke	戸野 康恵	非常勤講師	脳卒中の症状、予後について理解する。	symptom, prognosis, disability
7	11/13(火)	2	261	Rehabilitation	戸野 康恵	非常勤講師	脳卒中後のリハビリテーションについて説明する。	movement, activity, assistance, independence
8	11/20(火)	2	261	Medication	戸野 康恵	非常勤講師	薬の適切な使用について説明する。	direction, warning, side effect
9	11/27(火)	2	261	Dietary supplements	戸野 康恵	非常勤講師	サプリメントの有用性について説明する。	supplement, effectiveness, safety and risk
10	12/4(火)	2	261	Musculoskeletal system	戸野 康恵	非常勤講師	体の部位、骨格、筋肉に関する語彙を知る。	body parts, bone, joint, muscle
11	12/11(火)	2	261	Injury	戸野 康恵	非常勤講師	傷害の原因を理解し、治療について説明する。	sports injury, surgery, rehabilitation
12	12/18(火)	2	261	Mental health	戸野 康恵	非常勤講師	うつへの対処法について助言する。	trauma, depression
13	12/25(火)	2	261	Review	戸野 康恵	非常勤講師	既習事項の復習、発表準備。	
14	1/8(火)	2	261	Presentations	戸野 康恵	非常勤講師	発表。	
15	1/22(火)	2	261	試験	戸野 康恵	非常勤講師		

教育ブランドデザインとの関連:1, 2, 4

学位授与の方針との関連:2, 4

授業レベル:2

指定教科書:教材はその都度配布します。

評価:定期試験60%、小テスト20%、課題提出20%

医療英語Ⅱ(ジアデーレンクラス)

科目到達目標: Being a Good Medical English Speaker

科目責任者(所属教室): マーク・ジアデーレン(非常勤講師)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/9(火)	2	262	Introduction	ジアデーレン	非常勤講師		quiz, game, classroom expectations, getting to know each other
2	10/9(火)	5	262	Lesson 1	ジアデーレン	非常勤講師	Self-Introduction	likes, dislikes, partner interview, self-introduction, goals at university
3	10/16(火)	2	121	Lesson 2	ジアデーレン	非常勤講師	Island of Nauru	worldwide obesity, strategies, patient advice, obesity in Japan, junk food/temptation
4	10/23(火)	2	262	Lesson 3 小テスト1	ジアデーレン	非常勤講師	Passion	passion for your profession, happiness/passion, inspiration, how to create passion
5	10/30(火)	2	262	Lesson 4	ジアデーレン	非常勤講師	Humour and Laughter	differences children/adults, ways to create laughter, health benefits, stress relief
6	11/6(火)	2	262	Lesson 5	ジアデーレン	非常勤講師	Technology Addiction	Japan versus the world, South Korean strategy, self addiction, health risks
7	11/13(火)	2	262	Lesson 6	ジアデーレン	非常勤講師	midterm presentations	
8	11/20(火)	2	262	Lesson 7 小テスト2	ジアデーレン	非常勤講師	class discussion/technology	positive/negatives about class midterm presentations, finish Unit 9
9	11/27(火)	2	262	Lesson 8	ジアデーレン	非常勤講師	The Science of Happiness	positive psychology, habits of happy people, health benefits of happiness, self skills
10	12/4(火)	2	262	Lesson 9	ジアデーレン	非常勤講師	Sugar Addiction	"Fed-up" & "Sugar the Bitter Truth" videos, Sugar Challenge, sugar addiction in Japan
11	12/11(火)	2	262	Lesson 10	ジアデーレン	非常勤講師	Sugar Addiction	health risks, history of sugar addiction, recent trends, solutions, global strategies
12	12/18(火)	2	262	Lesson 11 小テスト3	ジアデーレン	非常勤講師	Cigarette Advertising	nicotine, secondhand smoke, class survey, smoking in Japan, health risks, solutions
13	12/25(火)	2	262	発表/オーラル面接	ジアデーレン	非常勤講師	Male/Female/Right/Left Brain	brain connections, differences, brain evolution, RB/LB survey, RB/LB behaviours
14	1/8(火)	2	262	発表/オーラル面接	ジアデーレン	非常勤講師		
15	1/22(火)	2	262	発表/オーラル面接 Final Assessment	ジアデーレン	非常勤講師		

教育プログラムデザインとの関連: 1, 2, 4

学位授与の方針との関連: 2, 4

授業のレベル: 2

Participation 30% Midterm 20%

Essay 10% Final Exam 40%

教科書: Life Topics: Deeper Connections, 2016年, Nan'Un-Do

解剖学実習

科目到達目標：人体の正常構造に関する知識を習得するとともに、観察された疾患に関する病態の理解に応用できる。

科目責任者(所属教室)：海藤 俊行(解剖学)

連絡先：0859-38-6011(解剖学講座)

回数	月日	時限	講義室	実習内容 (頭側担当者)	実習内容 (尾側担当者)	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/1(月)	3~4(0.5)	323集合 解剖	オリエンテーション 体表観察、胸部、 頸部の剥皮	オリエンテーション 体表観察、胸部、 腹部の剥皮	解剖学 講座教員	解剖学	実習の目的と注意事項を理解する 皮膚の構造、脈管・神経の区別	体表、真皮、皮下組織、カンバー筋膜、胸腹部の皮静脈、乳腺
2	10/3(水)	3~4(0.5)	解剖	胸部、頸部の剥皮	胸、腹部の剥皮	解剖学 講座教員	解剖学	Dermatomeの概念、胸腹部浅層の局所解剖	広頸筋/脊髄神経前枝(前・外側皮枝)
3	10/4(木)	3~4(0.5)	解剖	頸部(浅層)の観察	頸径部表層の解剖	解剖学 講座教員	解剖学	頸部浅層/鼠径部表層の局所解剖	頸部浅層の静脈・神経、頸動脈三角、頸筋膜、胸鎖乳突筋、頸部リンパ節/浅鼠径輪、スカルパ筋膜
4	10/5(金)	3~4(0.5)	解剖	頸部(深層)の観察 (アンケート1)	大腿部の剥皮 (アンケート1)	解剖学 講座教員	解剖学	頸部深層の局所解剖/大腿の皮神経・皮静脈	舌骨下筋群、内頸静脈、総頸動脈/伏在裂孔、大腿の皮神経、浅鼠径リンパ節
5	10/10(水)	3~4(0.5)	解剖	頸部(深層)の観察	下腿・足背・上肢の 剥皮	解剖学 講座教員	解剖学	頸部深層の局所解剖/上肢と下肢の皮神経・皮静脈	頸神経叢、頸神経ワナ、頸部リンパ節/上肢と下肢の皮神経・皮静脈
6	10/11(木)	3~4(0.5)	解剖	上肢・下肢(後面)の剥皮	殿部の剥皮	解剖学 講座教員	解剖学	上肢と下肢の皮神経・皮静脈/殿部の皮神経	上肢と下肢の皮神経・皮静脈/上・中・下殿皮神経、大殿筋
7	10/12(金)	3~4(0.5)	解剖	背部の剥皮 (アンケート2)	殿部深層 (アンケート2)	解剖学 講座教員	解剖学	背部浅層の神経/殿部深層の局所解剖	背髄神経後枝/大・中・小殿筋
8	10/15(月)	3~4(0.5)	解剖	背部の筋	殿部深層と大腿屈側	解剖学 講座教員	解剖学	背部の筋/殿部深層と大腿屈側の局所解剖	僧帽筋、広背筋、前鋸筋/大坐骨孔、梨状筋、仙骨神経叢の分枝、坐骨神経、大腿二頭筋
9	10/17(水)	3~4(0.5)	解剖	浅胸筋	大腿伸側	解剖学 講座教員	解剖学	胸部の筋層/大腿伸側の局所解剖	大・小胸筋、鎖骨/大腿三角、大腿四頭筋、大腿動脈、大腿管、内転筋
10	10/18(木)	3~4(0.5)	解剖	腋窩 (第1回口頭試問)	大腿伸側 (第1回口頭試問)	解剖学 講座教員	解剖学	腋窩の局所解剖/大腿内側の局所解剖	腋窩リンパ節、腋窩動脈・静脈/大腿深動脈、内転筋群
11	10/19(金)	3~4(0.5)	解剖	胸郭出口部 (アンケート3)	下腿前面 (アンケート3)	解剖学 講座教員	解剖学	胸郭出口部の局所解剖/下腿前面の局所解剖	静脈角、鎖骨下動脈、腋窩動脈の分枝、前斜角筋/浅・深腓骨神経、下腿伸筋群
12	10/22(月)	3~4(0.5)	解剖	腕神経叢	足背	解剖学 講座教員	解剖学	腕神経叢の構成/足背の局所解剖	神経幹と神経束、筋皮・腋窩・橈骨・正中・尺骨神経/下腿伸筋群の腱、足背の筋、足背動脈
13	10/24(水)	3~4(0.5)	解剖	上肢帯と筋	大腿の屈側、膝窩と下腿後面	解剖学 講座教員	解剖学	上肢帯筋の構成/大腿屈側、膝窩、下腿後面の局所解剖	三角筋、内側・外側腋窩隙/半腱様筋、半膜様筋、坐骨神経、下腿三頭筋、膝窩動脈、足根管

回数	月日	時限	講義室	実習内容 (頭側担当者)	実習内容 (尾側担当者)	担当者	講義・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
14	10/25(木)	3~4(0.5)	解剖	上腕屈側の筋	膝関節	解剖学 講座教員	解剖学	上腕屈側の局所解剖/膝関節の構造	筋間中隔、上腕二頭筋、上腕動脈、側副韌帯、十字韌帯、半月、変形性膝関節症
15	10/26(金)	3~4(0.5)	解剖	上腕伸側の筋、手首と手掌の剥皮 (アンケート4)	股関節 (アンケート4)	解剖学 講座教員	解剖学	上腕伸側の局所解剖、手首と手掌/股関節の構造	上腕三頭筋、橈骨神経、手掌腱膜、屈指支帯/股関節の韌帯、関節包、寛骨臼、大腿骨頭
16	10/29(月)	3~4(0.5)	解剖	前腕屈側の筋	肩関節	解剖学 講座教員	解剖学	前腕屈側の局所解剖/肩関節の構造	前腕の屈筋群・血管・神経/回旋筋腱板、肩関節の関節包・関節窩・関節唇、肩関節脱臼、肩関節周囲炎
17	10/31(水)	3~4(0.5)	解剖	前腕伸側の筋	足底	解剖学 講座教員	解剖学	前腕伸側の局所解剖/足底の局所解剖	伸筋支帯と前腕伸筋群/足底腱膜、足底の筋
18	11/1(木)	3~4(0.5)	解剖	顔面の剥皮	手	解剖学 講座教員	解剖学	顔面浅層の局所解剖/手の局所解剖	表情筋、顔面動脈/腱鞘、母指球の筋、正中神経
19	11/2(金)	3~4(0.5)	解剖	顔面の筋 (第2回口頭試問) (アンケート5)	手 (第2回口頭試問) (アンケート5)	解剖学 講座教員	解剖学	顔面浅層の局所解剖/手の局所解剖	三叉神経と顔面神経、耳下腺/小指球の筋、尺骨神経、浅掌・深掌動脈弓、虫様筋、骨間筋
20	11/5(月)	3~4(0.5)	解剖	前胸壁の除去	腹部の筋、腹腔	解剖学 講座教員	解剖学	胸郭の構造/腹部の筋の構成、腹膜のヒダ	肋間筋、肋間神経・動脈、静脈、壁側胸膜、胸腺/腹直筋、外・内腹斜筋、腹横筋、腹壁・鼠径ヘルニア
21	11/7(水)	3~4(0.5)	解剖	縦隔と胸膜	腹腔	解剖学 講座教員	解剖学	縦隔の区別と構造/腹膜の構造、腹部内臓の位置	甲狀腺の血管、腕頭静脈、胸膜、心膜、横隔神経/正中・内側・外側膈ヒダ、消化器の発生、大網、小網、腸間膜、胃、小腸、結腸、肝臓、腹腔トレーン留置部位
22	11/8(木)	3~4(0.5)	解剖	胸部内臓摘出	腹腔	解剖学 講座教員	解剖学	縦隔の内臓の摘出(リハビリテーション連携実習)	気管支動脈、反回神経、大動脈弓/上腸間膜動脈、下腸間膜動脈、腹腔動脈、門脈、食道、腹部の神経叢
23	11/9(金)	3~4(0.5)	解剖	胸部内臓摘出、後部縦隔 (アンケート6)	腹腔 (アンケート6)	解剖学 講座教員	解剖学	縦隔の局所解剖/肝臓、胃の構造	心臓の自律神経、星状神経節、食道、胸大動脈、奇静脈、胸管/肝臓、肝区域、胆嚢、胃と動脈・リンパ節
24	11/12(月)	3~4(0.5)	解剖	後部縦隔	腹腔	解剖学 講座教員	解剖学	縦隔後部の局所解剖/下部消化管の構造	迷走神経、交感神経幹/十二指腸、脾臓、総胆管、膵管、脾臓、空腸、回腸、回盲部、虫垂、結腸
25	11/14(水)	3~4(0.5)	解剖	肺	腹膜後器官	解剖学 講座教員	解剖学	肺の構造/腎臓と副腎	肺胸膜、胸膜腔、気管、気管支、肺葉、肺区域、肺根、気管支異物/腎臓の被膜、腎臓、腎門、副腎
26	11/15(木)	3~4(0.5)	解剖	心臓	腹膜後器官	解剖学 講座教員	解剖学	心臓の外観/腹大動脈、胸管の走向 (保健学科連携実習)	心臓、心尖、心底、心房、心耳、心室、冠状動脈、冠状静脈/精巣・卵巣動脈、総腸骨動脈、胸管
27	11/16(金)	3~4(0.5)	解剖	心臓(アンケート7)	横隔膜 (アンケート7)	解剖学 講座教員	解剖学	心臓の内景/横隔膜の構造 (リハビリテーション連携実習)	右心房、右心室、左心房、左心室、心房中隔、心室中隔、動脈弁と房室弁、線維三角、刺激伝道系/横隔膜
28	11/19(月)	3~4(0.5)	解剖	脊柱と脊髄	脊柱と脊髄	解剖学 講座教員	解剖学	固有背筋、脊柱と脊柱管の構造、脊髄膜の層構造	固有背筋、脊柱起立筋、脊髄膜(硬膜、クモ膜、クモ下腔、軟膜)、脊髄神経節、頸・腰膨大、馬尾

回数	月日	時限	講義室	実習内容 (頭側担当者)	実習内容 (尾側担当者)	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
29	11/21(水)	3~4(0.5)	解剖	頭部の切り離し作業、脊髓		解剖学 講座教員	解剖学	頭部・頸部移行部の局所解剖、脊髓の構造	椎骨動脈、蓋膜、環椎十字韧带、脊髓(前索、側索、後索、前角、側角、後角)
30	11/26(月)	3~4(0.5)	解剖	舌骨上筋群と咽頭 (第3回口頭試問)	頭径管と会陰 (第3回口頭試問)	解剖学 講座教員	解剖学	顎下三角、オトガイ下部、咽頭の局所解剖/鼠径管の局所解剖、会陰と外陰部の解剖	舌骨上筋群、舌下神経、咽頭収縮筋、咽頭鼻部・口部・喉頭部、嚥下、舌根、扁桃/深鼠径輪、鼠径管、鼠径輪、鼠径ヘルニア、陰嚢、大陰唇
31	11/28(水)	3~4(0.5)	解剖	甲状腺、気管と喉頭	会陰	解剖学 講座教員	解剖学	甲状腺の局所解剖、喉頭の構造/会陰の局所解剖	甲状腺、上皮小体、喉頭の軟骨と筋、声帯/会陰の筋、外肛門括約筋
32	11/30(金)	3~4(0.5)	解剖	頭蓋内面と頭部の正中断、口腔 (アンケート8)	骨盤下部臓器、勃起器官(アンケート8)	解剖学 講座教員	解剖学	脳硬膜、硬膜静脈洞、頭蓋窩の理解、口腔の構造/骨盤下部臓器の位置、勃起器官の構成	大脳鎌、小脳テント、硬膜静脈洞、下垂体、脳神経、舌、舌乳頭/前立腺、陰嚢、陰茎・陰核と海綿体、尿道
33	12/3(月)	3~4(0.5)	解剖	口腔、鼻腔と鼻中隔	骨盤内臓器の観察と取り出し	解剖学 講座教員	解剖学	口腔の構造、鼻腔の構造/骨盤内臓器の局所解剖	顎下腺、舌下腺、舌神経、鼻中隔、鼻甲介、/膀胱、直腸、子宮、ダグラス窩、子宮広間膜、骨盤神経叢
34	12/5(水)	3~4(0.5)	解剖	鼻腔と咽頭鼻部、顔面深層	男性・女性泌尿生殖器、直腸と肛門	解剖学 講座教員	解剖学	鼻腔の動脈、耳管咽頭口、咀嚼筋、下顎管/膀胱、男性生殖器(精巣、精管)、女性生殖器(卵管、卵巣、子宮)、直腸膨大部、肛門管、歯状線	鼻腔の動脈、耳管咽頭口、咀嚼筋、下顎管/膀胱、男性生殖器(精巣、精管)、女性生殖器(卵管、卵巣、子宮)、直腸膨大部、肛門管、歯状線
35	12/7(金)	3~4(0.5)	解剖	顔面深層 (アンケート9)	後腹壁 (アンケート9)	解剖学 講座教員	解剖学	顎関節と側頭下窩の構造/後腹壁の筋と腰神経叢	顎関節、側頭筋、顎動脈、舌神経、大・小口蓋神経、翼口蓋神経節/腸腰筋、腰部神経叢
36	12/12(水)	3~4(0.5)	解剖	眼球付属器	体幹と骨盤の半切	解剖学 講座教員	解剖学	眼瞼、結膜、涙器の構造/骨盤の血管	眼瞼、結膜、涙腺、涙嚢、鼻涙管/椎間円板、変形性脊椎症、内腸骨動脈の枝、陰部神経管
37	12/14(金)	3~4(0.5)	解剖	眼窩と眼球、聴覚器 (アンケート10)	仙骨神経叢、肘関節 (アンケート10)	解剖学 講座教員	解剖学	眼窩と眼球の構造、聴覚器の構造/仙骨神経叢、肘関節の構造(頭頸部外科連携実習)	外眼筋と支配神経、視神経、眼動脈の枝、毛様体神経節、鼓膜、鼓室、耳小骨/仙骨神経叢、肘関節の内側・外側側副靭帯、橈骨輪状靭帯
38	12/19(水)	3~4(0.5)	解剖	眼窩と眼球、内耳、上顎洞 (第4回口頭試問)	足関節 (第4回口頭試問)	解剖学 講座教員	解剖学	眼窩と眼球の構造、内耳の構造、上顎洞/足関節の構造	眼球(水晶体など)、内耳(半規管、蝸牛管)、耳介、上顎洞/内腸骨動脈、足関節の内側・外側靭帯、シヨパール・リスフラン関節、黄色・赤色骨髄、指節関節の靭帯
39	12/21(金)	3~4(0.5)	解剖	まとめ、清掃・納骨(アンケート11)		解剖学 講座教員	解剖学	解剖学実習の総まとめ	感謝・畏敬の念

教育ブランドデザインとの関連：2、3、5、6、7 学位授与の方針との関連：1、2、3、4

授業レベル：3

評価：口頭試問及び割出チェック

その他：時間厳守、解剖学実習を行う者として常識ある態度をとること。

解剖学実習は学生4人で行う共同作業であるので、正当な理由なくして休むことは許されない。

上記のシラバスは、実習の進捗状況に応じて適宜変更することがある。

10/1(月)は、オリエンテーションとして最初に実習の注意事項を説明するので、323講義室に集合すること。

平成31年春に解剖体慰霊祭が予定されているので、全員が出席すること。

アンケートでは、実習の進捗状況や解剖所見を調査するとともに、ピア評価を実施する。

病理学総論

科目到達目標: 病因と病態(遺伝子異常と疾患・発生発達異常, 細胞傷害・変性と細胞死, 代謝障害, 循環傷害, 炎症と創傷治癒, 腫瘍)及び関連する代表的な病理組織像について理解する。

科目責任者(所属教室): 梅北 善久(器官病理学)

連絡先: E-mail: yume@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/1(月)	1	122	細胞傷害 1	梅北 善久	器官病理学	細胞傷害・変性と細胞死の多様性, 病因と意義を説明できる	ATP, フリーラジカル, 凝固壊死, 液化壊死, 乾酪壊死, 脂肪壊死, フリット壊死, Autophagy, 老化, アポトーシス, UPR, 萎縮
2	10/3(水)	1	121	細胞障害 2	梅北 善久	器官病理学	糖代謝異常, 蛋白質・アミノ酸異常, 脂質代謝異常, 核酸・ヌクレオチド代謝異常, 無機質代謝異常の病態を説明できる	マセリン小体, 硝子滴変性, アミロイドーシス, 脂肪変性, 痛風, 病的石灰沈着, リボフスチン, ヘモシテロシス, ヘモグロマトーシス, 黄疸
3	10/4(木)	1	121	循環障害 1	加藤 雅子	分子病理学	水腫, 充血と鬱血, ショックが説明できる	浮腫, 水腫, 充血, 鬱血, ショック, 心不全, 腎性浮腫, 脳浮腫
4	10/4(木)	2	121	循環障害 2	加藤 雅子	分子病理学	出血と凝固機序, 血栓症が説明できる	出血, 凝固機序, 出血性素因, 血栓症, 血小板, 線溶系
5	10/10(水)	1	組織系	実習 1: 細胞傷害	野坂 加苗 坂部 友彦	病理部 器官病理学	細胞傷害に伴う組織像が説明できる	脂肪肝, マロリー小体, 硝子滴変性, リボフスチン蓄積
6	10/11(木)	1	121	循環障害 3	加藤 雅子	分子病理学	血栓症が説明できる	塞栓症, 塞栓の種類, 肺塞栓症
7	10/11(木)	2	121	循環障害 4	加藤 雅子	分子病理学	梗塞が説明できる	梗塞, 白色梗塞, 赤色梗塞
8	10/15(月)	1	組織系	実習 2: 細胞傷害	野坂 加苗 坂部 友彦	病理部 器官病理学	細胞傷害に伴う組織像が説明できる	コーン病, 塵肺症, 凝固壊死, 液化壊死, 転移性石灰化
9	10/17(水)	1	121	遺伝性疾患・発生発達異常 1	梅北 善久	器官病理学	遺伝子・染色体異常と発生発達異常や疾患との関連を説明できる	多因子遺伝, 変形, 破壊, 先天性風疹症候群, 全前脳症, Hox gene, PAX gene, レタイン酸胎芽症, Down 症候群, Klinefelter 症候群, Turner 症候群
10	10/18(木)	1	121	炎症 1	林 一彦	分子病理学	病理学について, 炎症の定義, 炎症総論	病理学の歴史と役割, 炎症の進化, 炎症の歴史, 炎症による全身反応, 炎症と発癌
11	10/18(木)	2	121	炎症 2	林 一彦	分子病理学	炎症, 感染症, 免疫を含む生体反応の総論とトピック	炎症反応のカスケード, 炎症巣の構造, 浸潤細胞, ケミカルメディエーター, 免疫応答のパラダイム
12	10/22(月)	1	組織系	実習 3: 細胞傷害	野坂 加苗 坂部 友彦	病理部 器官病理学	細胞傷害に伴う組織像が説明できる	ヘモンテリン沈着, マロン沈着, 胆汁鬱滞, 粘液変性, アミロイド沈着
13	10/24(水)	1	121	遺伝性疾患・発生発達異常 2	梅北 善久	器官病理学	遺伝子・染色体異常と発生発達異常や疾患との関連を説明できる	メンデルの法則, 伴性劣性遺伝, 常染色体劣性遺伝, 家族性高コレステロール血症, 糖尿病, フェニルケトン尿症, ミトコンドリア遺伝子変異, ケムイクアリンテイング
14	10/25(木)	1	組織系	実習 4: 循環障害	林 一彦 加藤 雅子 桑本 聡史	分子病理学 病理部	循環障害に伴う組織像が説明できる	浮腫, 充血, うっ血, 出血, 血栓, 塞栓, 梗塞, 梗塞ショック
15	10/25(木)	2	組織系	実習 5: 循環障害	林 一彦 加藤 雅子 桑本 聡史	分子病理学 病理部	循環障害に伴う組織像が説明できる	浮腫, 充血, うっ血, 出血, 血栓, 塞栓, 梗塞, 梗塞ショック
16	10/29(月)	1	組織系	実習 6: 循環障害	林 一彦 加藤 雅子 桑本 聡史	分子病理学 病理部	循環障害に伴う組織像が説明できる	浮腫, 充血, うっ血, 出血, 血栓, 塞栓, 梗塞, 梗塞ショック
17	10/31(水)	1	121	環境要因・栄養障害	梅北 善久	器官病理学	環境要因及び栄養障害による代表的な疾患の病態を説明できる	チクロラムP-450, 大気汚染, 重金属汚染, アルコール, 経口避妊薬, 物理的因子による傷害, 蛋白エネルギー-栄養障害
18	11/1(木)	1	121	炎症 3	加藤 雅子	分子病理学	炎症の分類, 組織形態学的変化と経時的変化を説明できる	炎症の種類, 漿液性炎, 線維素性炎, 化膿性炎, 出血性炎, 壊死性炎, 壞疽性炎

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
19	11/1(木)	2	121	炎症 4	加藤 雅子	分子病理学	炎症の分類、組織形態学的変化と経時的変化を説明できる	慢性炎症、治癒、癒後、膿瘍、慢性増殖性炎症、肉芽性炎症、結核型肉芽腫、サルコイド肉芽腫、リウマチ結節、Aschoff結節、異物肉芽腫
20	11/5(月)	1	組織系	実習 7: 炎症	林 一彦 桑本 聡史	分子病理学 病理部	急性炎症に伴う組織像が説明できる。	浸潤細胞、微小循環、漿液性炎、線維素性炎、化膿性炎、出血性炎、壊死性炎
21	11/7(水)	1	121	感染症 1	千酌 浩樹	感染制御部	感染症による炎症性変化を病原体別に説明できる。	ウイルス感染、リカッチア、クラミジア、マイコプラズマ
22	11/8(木)	1	121	創傷治癒 1	長田 佳子	分子病理学	創傷治癒に関する細胞とその過程を説明できる。	組織細胞反応、肉芽組織反応、間質細胞、組織修復
23	11/8(木)	2	121	創傷治癒 2	長田 佳子	分子病理学	創傷治癒に関する細胞とその過程を説明できる。	細胞増殖因子、細胞外マトリックス、再生
24	11/12(月)	1	121	腫瘍 1	梅北 善久	器官病理学	腫瘍の定義と良性・境界・悪性腫瘍の特徴を説明できる。	病理医、細胞診、分化度、異型度、異形成、上皮内癌、腺癌、扁平上皮癌、尿路上皮癌、未分化癌
25	11/15(木)	1	121	腫瘍 2	梅北 善久	器官病理学	腫瘍の定義と良性・境界・悪性腫瘍の特徴を説明できる。	癌腫、肉腫、異型、多形性、退形成、浸潤、転移、最終診断、免疫組織化学
26	11/15(木)	2	121	腫瘍 3	梅北 善久	器官病理学	腫瘍の定義と良性・境界・悪性腫瘍の特徴を説明できる。	肥大、過形成、転移、播種、ラテン癌、幹細胞、ニッチ、腫瘍マーカー、TNM分類、原発不明癌
27	11/19(月)	1	組織系	実習 8: 炎症	林 一彦 桑本 聡史	分子病理学 病理部	慢性炎症に伴う組織像が説明できる。	治癒、癒後、膿瘍、肉芽性炎、結核結節、サルコイド肉芽腫、リウマチ結節
28	11/21(水)	1	121	腫瘍 4	梅北 善久	器官病理学	がんの疫学、内因及び環境要因について説明できる	職業癌、遺伝性腫瘍症候群、前癌病変、炎症性発癌、Helicobacter pylori、7SAsT、中皮腫
29	11/22(木)	1	組織系	実習 9: 炎症	加藤 雅子 桑本 聡史	分子病理学 病理部	慢性炎症に伴う組織像が説明できる	治癒、癒後、膿瘍、肉芽性炎、結核結節、サルコイド肉芽腫、リウマチ結節
30	11/22(木)	2	組織系	実習 10: 腫瘍	野坂 加苗 坂部 友彦	病理部 器官病理学	良性腫瘍と悪性腫瘍の代表的な組織像が説明できる	腺癌、肉腫、扁平上皮癌、扁平上皮癌、上皮内癌
31	11/26(月)	1	組織系	実習 11: 腫瘍	野坂 加苗 坂部 友彦	病理部 器官病理学	良性腫瘍と悪性腫瘍の代表的な組織像が説明できる	低分化腺癌、尿路上皮癌、印環細胞癌、過形成ホリ-7
32	11/28(水)	1	121	感染症 2	千酌 浩樹	感染制御部	感染症による炎症性変化を病原体別に説明できる	細菌感染、真菌感染、原虫感染、寄生虫感染、日和見感染
33	11/29(木)	1	組織系	実習 12: 腫瘍	野坂 加苗 坂部 友彦	病理部 器官病理学	良性腫瘍と悪性腫瘍の代表的な組織像が説明できる	平滑筋腫、平滑筋肉腫、脂肪腫、脂肪肉腫、神経鞘腫、
34	11/29(木)	2	121	免疫病理 1	桑本 聡史	病理部	免疫系の生物学、免疫反応による組織障害が説明できる	免疫系の細胞、MHC、液性免疫、細胞性免疫、I型・IV型過敏性反応、拒絶反応
35	12/3(月)	1	121	腫瘍 5	梅北 善久	器官病理学	発癌の分子機構について概説できる	Oncogene、がん抑制遺伝子、LOH、EGFR、RAS、HER2、TGF- α 、トランス-変異
36	12/5(水)	1	121	免疫病理 2	桑本 聡史	病理部	免疫状態の評価、移植免疫、免疫不全疾患が説明できる	複合免疫不全症、AIDS、先天性免疫疾患、移植関連疾患
37	12/6(木)	1	121	免疫病理 3	桑本 聡史	病理部	代表的な自己免疫疾患が説明できる	SLE、シェーグレン症候群、強皮症、混合性結合組織病、IgG4関連疾患等
38	12/6(木)	2	組織系	実習 13: 創傷治癒	林 一彦 加藤 雅子 桑本 聡史	分子病理学 病理部	創傷治癒に関する組織像を説明できる	組織細胞反応、肉芽組織反応、間質細胞、組織修復
39	12/10(月)	1	121	腫瘍 6	坂部 友彦	器官病理学	発癌の分子機構について概説できる	間質の微小環境、VEGF、VEGFR、遺伝子がん症候群、MSI、ゲノム不安定性、Warburg 効果、染色体相互転座、Epigenetics
40	12/10(月)	3	121	炎症 5 特別講義	村上 一郎	分子病理学 (非常勤講師)	ランゲルハンス組織球症の病態の特徴について説明できる	ランゲルハンス組織球症の研究の歴史、現在の最新の研究成果と病態、本疾患の炎症と腫瘍としての特徴

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
41	12/10(月)	4	121	炎症6 特別講義	村上 一郎	分子病理学 (非常勤講師)	ランゲルハンス組織球症の病態について説明できる	ランゲルハンス組織球症の研究の歴史、現在の最新の研究成果と病態、本疾患の炎症と腫瘍としての特徴
42	12/12(水)	1	121	腫瘍7	梅北 善久	器官病理学	発癌の分子機構について概説できる	MYC, Cyclins, CDK4, Rb, p53, microRNA, WT1, APC, β -catenin, p16, p21, TGF- β , BRCA1, APC, b-catenin, PTEN, VHL, HIF1, Apoptosis, 細胞老化, γ -ロコド, γ -ロコド γ - τ
43	12/13(木)	1	121	腫瘍8	坂部 友彦	器官病理学	主な小児がんの種類と特徴、腫瘍免疫・宿主に及ぼす影響について概説できる	神経芽細胞腫, Wilms tumor, 肝芽腫, 白血病, 横紋筋肉腫, 髄芽腫, 腫瘍抗原, NK細胞
44	12/13(木)	2	組織系	実習14: 創傷治癒	林 一彦 加藤 雅子 桑本 聡史	分子病理学 病理部	創傷治癒に関する組織像を説明できる	組織細胞反応, 肉芽組織反応, 間質細胞, 組織修復
45	12/17(月)	1	組織系	実習15: 免疫病理	林 一彦 加藤 雅子	病理部 分子病理学	免疫反応による組織学的変化・病変を説明できる	細胞性免疫, 過敏性反応, AIDS, SLE, シェーグレン症候群, 強皮症
46	12/17(月)	3	121	腫瘍9	坂部 友彦	器官病理学	浸潤と転移の分子機構について概説できる	細胞外基質, EMT, MMPs, E-cadherin, Cathepsin, Laminin
47	12/17(月)	4	121	腫瘍10	坂部 友彦	器官病理学	ウイルス発癌及び化学発癌の分子機構について説明できる	HTLV-1, HPV E6, HPV E7, EBV, HBV, Initiation, Promotion, AflatoxinB1
48	12/20(木)	1	組織系	実習16: 総復習	林 一彦 加藤 雅子 桑本 聡史	分子病理学 病理部	循環障害と炎症性疾患の代表的な組織像について説明できる	
49	12/20(木)	2	組織系	実習17: 腫瘍	野坂 加苗 坂部 友彦	病理部 器官病理学	良性腫瘍と悪性腫瘍の代表的な組織像が説明できる	扁平上皮癌, 低分化型腺癌, 尿路上皮癌, 印環細胞癌, 過形成ホリーフ
50	1/9(水)	1	組織系	実習18: 腫瘍	野坂 加苗 坂部 友彦	病理部 器官病理学	良性腫瘍と悪性腫瘍の代表的な組織像が説明できる	平滑筋腫, 平滑筋肉腫, 脂肪腫, 脂肪肉腫, 神経鞘腫,
51	1/9(水)	2	組織系	実習19: 総復習	野坂 加苗 坂部 友彦	病理部 器官病理学	良性腫瘍と悪性腫瘍、細胞傷害の代表的な組織像が説明できる	
52	1/10(木)	1	組織系	実習20: 実習試験(器官病理)	野坂 加苗 坂部 友彦	病理部 器官病理学	細胞障害、腫瘍の代表的な組織像について説明できる	
53	1/10(木)	2	組織系	実習試験予備	野坂 加苗 坂部 友彦	病理部 器官病理学	細胞障害、腫瘍の代表的な組織像について説明できる	

教育グランドデザインとの関連: 2, 3, 4

学位授与方針との関連: 1, 2, 3

授業レベル: 3

評価: 定期試験, *組織実習, 学習態度を総合的に評価する

*バーチャルスライドシステム等を利用した試験+レポート(実習ノート)+学習態度

参考書(講義用推奨): Basic Pathology (9th eds.), ルービン病理学(西村書店), 解明病理学(医歯薬出版), 標準病理学(医学書院)

参考書(実習用推奨): 病理組織の見方と鑑別診断(医歯薬出版), 組織病理アトラス(文光堂), ダイナミック病理学(西村出版)

社会環境医学

科目到達目標:健康、疾病を取り巻く社会的環境についての知識と考え方を習得する。

科目責任者(所属教室):尾崎 米厚(環境予防医学) 連絡先:研究室TEL:0859-38-6103

回数	月日	時間	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/2(火)	1	121	社会構造と健康・疾病	黒沢 洋一	健康政策医学	家族、コミュニティ、地域社会、国際化と健康、疾病との関係を説明できる。	家族、地域社会の変貌、人口構造の変化、労働力人口の変化、高齢化の特徴、国際化、健康の社会決定要因
2	10/3(水)	2	121	環境と健康	黒沢 洋一	健康政策医学	環境と健康・疾病との関係(環境と適応)を理解する。	環境と適応、健康の例、環境要因の分類、ホメオスタシス、主体環境系、環境形成作用、社会的適応、生態環境系
3	10/9(火)	1	121	保健所の活動	吉田 良平	環境予防医学(非常勤講師)	保健所の活動の実際、公衆衛生医の役割について説明できる。	健康づくり活動、環境衛生、保健医療福祉システム作り、健康危機管理、喫煙対策、感染症対策、医師確保対策
4	10/10(水)	2	121	労働衛生、産業保健	能勢 隆之	健康政策医学(非常勤講師)	産業保健(労働関係法規を含む)を概説できる。	労働基準法、労働安全衛生法、産業医、作業環境管理、作業管理、健康管理、労働災害、職業性疾患、じん肺、放射線、職業性腰痛
5	10/17(水)	2	121	生態系、環境の変化と健康	黒沢 洋一	健康政策医学	生態系の変化と健康、地球環境の変化と健康との関連が説明できる。	地球環境の変化、温暖化、生態系への影響、黄砂、PM2.5、大気汚染、水質汚濁、水問題、乾燥地、生体循環、生体濃縮、室内大気汚染、ディーゼル排気、環境基本法、酸性雨、オゾン層破壊、エルニーニョ
6	10/24(水)	2	121	母子保健、学校保健	金城 文	環境予防医学	母子保健および学校保健の実際、母子保健対策や学校保健対策の概要を説明できる。	母子保健法、出産、育児に関する制度、母体保護法、母子保健統計、児童福祉法、児童虐待防止法、妊産婦への施策、疾病や障害を持った子供の支援策、学校保健安全法、校医、養護教諭、学校健診、学校感染症、等
7	10/30(火)	1	121	保健、医療、福祉システム	尾崎 米厚	環境予防医学	医療制度、福祉制度、わが国の保健医療福祉システムの特徴を説明できる。	医療制度改革、医師確保対策等医療政策のトピックス、保健医療福祉制度の国際比較、医療法、医療計画、医療体制、医療従事者
8	10/31(水)	2	121	環境保健 公害対策	尾崎 米厚	環境予防医学	環境汚染と健康、公害病について概説できる。	四大公害病、薬害、現代の公害、世界の公害、公害対策
9	11/2(金)	1	121	疾病の概念	尾崎 米厚	環境予防医学	健康、障害と疾病の概念を説明できる。	健康の定義、健康水準の尺度、健康の権利、WHOの定義、障害の定義
10	11/6(火)	1	121	高齢者保健	天野 宏紀	健康政策医学	高齢者保健の実際、高齢者保健対策の概要を説明できる。	老人福祉法、高齢者医療確保法、後期高齢者医療制度、介護保険法、要介護認定、ケアマネジメント、介護給付、介護予防、高齢者総合的機能評価(CGA)
11	11/7(水)	2	121	環境発癌物質	黒沢 洋一	健康政策医学	生態系の変化が健康と生活に与える影響(環境発癌物質)。	ダイオキシン、電磁波、放射線、職業性曝露物質
12	11/13(火)	1	121	社会福祉、障害者福祉	天野 宏紀	健康政策医学	社会福祉制度、障害者福祉の概要を説明できる。	社会保障制度、障害の概念、国際生活機能分類、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、OOL、障害者の福祉施策、障害者基本計画、障害者手帳、在宅障害児・者、障害者総合支援法、社会福祉、地域福祉、生活保護、医療扶助
13	11/14(水)	2	121	都道府県の衛生行政	藤井 秀樹	環境予防医学(非常勤講師)	都道府県庁の衛生部の活動の実際、公衆衛生医の役割。	健康づくり活動、環境衛生、保健医療福祉システム作り、健康危機管理、喫煙対策、感染症対策、医師確保対策
14	11/21(水)	2	121	内分泌環境乱物質	増本 年男	健康政策医学	生態系の変化が健康と生活に与える影響(内分泌環境乱物質)。	ダイオキシン、DES、PCB、BPA、スチレン・ダイマー、ホリマ、シックハウス症候群
15	11/27(火)	1	121	公衆栄養	天野 宏紀	健康政策医学	公衆栄養の実際、課題、対策について説明できる。	国民健康栄養調査、食事摂取基準、推定エネルギー必要量、食事バランスガイド、主要栄養素の実際
16	11/28(水)	2	121	在宅医療、終末期医療、へき地医療	金城 文	環境予防医学	在宅医療、終末期医療、へき地医療の実際と課題を説明できる。	終末期ケア、緩和ケア、地域医療、へき地医療、離島医療、在宅医療、家庭医療、地域包括ケアシステム

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
17	12/4(火)	1	121	成人保健	尾崎 米厚	環境予防医学	成人保健の実際、成人保健対策の概要を説明できる。	健康増進法、健康日本21(2次計画)、生活習慣病対策、特定健康診査、特定保健指導、がん対策基本法、がん診療連携拠点病院、がん対策推進基本計画
18	12/5(水)	2	121	環境と健康 考え方と事例	福島 哲仁	環境予防医学(非常勤講師)	環境と健康についての考え方の基本を整理。	リスク、安全、安心、リスクコミュニケーション、環境と健康
19	12/11(火)	1	121	国際社会と健康・疾病	尾崎 米厚	環境予防医学	国際保健の現状、課題、方法を説明できる。	世界の疾病の状況、国際保健の課題、開発と健康、ジェンダー、貧困、飢餓、国際保健の方法
20	12/12(水)	2	121	有害物質、環境基準と環境影響評価	黒沢 洋一	健康政策医学	生態系の変化が健康と生活に与える影響(有害物質)、環境と健康・疾病との関係(環境基準と環境影響評価)を説明できる。	環境基準、許容濃度、生体影響評価、環境影響評価、生物濃縮、量一反応関係、量影響関係、リスクコミュニケーション、有機溶剤、特化物。酸欠。
21	12/18(火)	1	121	災害医療	尾崎 米厚	環境予防医学	災害医療の実態と課題を説明できる。	災害の種類と被害、災害拠点病院、健康危機管理、災害医療体制、救急搬送、広域搬送、トリアージ、災害時保健医療活動、原子力災害、メンタルケア
22	12/19(水)	2	121	地域医療システム、地域保健医療計画、地域医療連携、病診連携、医療の質	黒沢 洋一	健康政策医学	地域医療の機能と体制(地域保健医療計画、地域医療の機能と体制(へき地医療)、病診連携と病病連携、医療の質の確保の方法)について説明できる。	地域医療の定義、地域医療の要素、地域保健医療計画、医療圏、必要病床数、医療資源、都市部における地域医療、病診連携、医師会、地域医療政策、医療の質の要素
23	12/25(火)	1	121	医療経済と国民医療費	天野 宏紀	健康政策医学	医療経済学の方法と適応事例を説明できる。	費用対効果、費用便益、国民医療費、医療費削減方法、診療報酬、公費医療、医療の質の評価、医療資源と医療サービスの価格形成
24	12/26(水)	2	121	精神保健、難病	金城 文	環境予防医学	精神疾患の実態、精神保健対策の概要、難病対策の概要、主な難病について説明できる。	障害者自立支援法、精神保健指定医、任意入院、措置入院、医療保護入院、精神医療審査会、自立支援医療、精神通院医療、精神保健福祉法、精神保健福祉センター、精神障害者保健福祉手帳、自殺対策、発達障害者支援法、高次脳機能障害、心神喪失者等医療観察法、こころのバリアフリー、特定疾患、難病情報センター、難病医療拠点病院、難病医療支援ネットワーク、難病医療コーディネーター、難病医療地域基幹病院、難病の医療費助成、難病情報センター、難病相談・支援センター、難病患者就労サポート
25	12/27(木)	1	121	食品保健、薬事行政	天野 宏紀	健康政策医学	食中毒の実態、食品保健対策、薬事行政について説明できる。	食中毒、自然毒、食品衛生法、食品表示、食品添加物、遺伝子組み換え食品、保険機能食品、特別用途食品、健康食品、HACCP 薬事行政、薬害、医薬品副作用被害、生物由来製品感染、被害者救済制度、安全性と有効性の確保
26	1/7(月)	3	121	感染症対策	金城 文	環境予防医学	日本と世界の感染症の実態、感染症対策の方法と課題について説明できる。	新興感染症、再興感染症、新感染症、感染症法、検疫法、予防接種法、サニペイラシス、隔離、医療体制、特定感染症指定医療機関、院内感染症、患者搬送、アウトブレイク、パンデミック、バイオテロリズム、結核対策
27	1/8(火)	1	121	公衆衛生のキャリアパス	黒沢 洋一	健康政策医学	公衆衛生分野の専門性の獲得方法、専門養成方法を理解する。	公衆衛生専門職、公衆衛生大学院、MPH、公衆衛生医、産業医、海外留学、国際機関
28	1/15(火)	1	121	救急医療	黒沢 洋一	健康政策医学	救急医療の実態と課題を説明できる	救急医療体制、一次救急、二次救急、三次救急、休日夜間医療、高度救命救急センター、救急搬送、救急救命士、小児救急、周産期救急
29	1/21(月)	1	121	衛生行政	尾崎 米厚	環境予防医学	国際的公衆衛生行政の動向と厚生行政、健康危機管理、衛生行政の意義と内容を説明できる。	公衆衛生医、厚生行政の実際、医療政策、ヘルスプロモーション、ハイスコアアプローチ、ポピュレーションアプローチ、ソーシャルキャピタル、健康危機管理
30	1/21(月)	3	121	公衆衛生における対策事例	尾崎 米厚	環境予防医学	公衆衛生対策事例を理解する。	理(内閣府)におけるアルコール対策の事例をあげ、国際的動向に呼応し、立法化され、それに沿って省庁連携し、新たな対策をより上げるプロセスを説明する。

教育グラウンドデザインとの関連:1、2、3、4、6、7

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

授業レベル:2

評価:定期試験90%、講義演習での態度10%

基礎医学実習

- 科目到達目標: 1) 実験の手法を身につける。 2) 実験の組み立て方を身につける。 3) 各実習の意義を説明できる。
 4) 各実習で得られたデータを解釈し、説明できる。 5) 各実習で得られたデータをもちに発表し、討論できる。
 6) 実験動物への愛護精神を身につける。

科目責任者(所属教室): 松浦 達也(統合分子医化学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	11/14(水)	1	121	説明会				
2・3	11/20(火)	3・4	機能系,感染症・生化学	<p>実習内容: 日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。</p> <p>時限数: 34～45時限</p>	<p>基礎系 講座・分野 担当教員</p>	<p>統合生理学分野、 適応生理学分野、 統合分子医化学分野、 薬理学・薬物療法学分野</p>	<p>教科書に記載されている事実あるいは講義等で教えられた知識は、多くの研究によって得られたものである。基礎医学実習では、実験を自ら実施することで、講義で学んだ知識について理解を深め、問題点を説明する能力や論理的思考力を養うことを目標とする。また、得られたデータをもちに、学会方式の発表を行うことにより、プレゼンテーション能力の向上を目指す。</p>	
4・5	11/22(木)	3・4	機能系,感染症・生化学					
6・7	11/27(火)	3・4	機能系,感染症・生化学					
8・9	11/29(木)	3・4	機能系,感染症・生化学					
10・11	12/4(火)	3・4	機能系,感染症・生化学					
12・13	12/6(木)	3・4	機能系,感染症・生化学					
14・15	12/11(火)	3・4	機能系,感染症・生化学					
16・17	12/13(木)	3・4	機能系,感染症・生化学					
18・19	12/18(火)	3・4	機能系,感染症・生化学					
20・21	12/20(木)	3・4	機能系,感染症・生化学					
22・23	12/25(火)	3・4	機能系,感染症・生化学					
24・25	12/26(水)	3・4	機能系,感染症・生化学					
26・27	12/27(木)	3・4	機能系,感染症・生化学					
28・29	12/28(金)	3・4	機能系,感染症・生化学					
30・31	1/8(火)	3・4	機能系,感染症・生化学					
32・33	1/9(水)	3・4	機能系,感染症・生化学					
34・35	1/10(木)	3・4	機能系,感染症・生化学					
36・37	1/11(金)	3・4	機能系,感染症・生化学					
38・39	1/15(火)	3・4	機能系,感染症・生化学					
40・41	1/16(水)	3・4	機能系,感染症・生化学					
42・43	1/17(木)	3・4	機能系,感染症・生化学					
44・45	1/22(火)	3・4	機能系,感染症・生化学					
46・47	1/23(水)	3・4	機能系,感染症・生化学					
48・49	1/24(木)	3・4	121	発表会				
50・51	1/25(金)	3・4	121					

教育ブランドデザインとの関連: 1, 3, 4, 5

学位授与の方針との関連: 1, 2

授業レベル: 3

評価: 実習科目であるので、全出席を原則とする。授業・実習態度(50%)、レポート(30%)、発表会での発表・質疑応答など(20%)により評価する。

その他: 実習書は説明会の時に配布する(全員出席のこと。遅刻をしないこと。これも出席に含める)。

基礎医学特論

科目到達目標：加齢・老化、自律神経調節の脳内機構、発熱の生理について説明できる。発明薬について考える。キャリア形成について考える。

科目責任者(所属教室)：海藤 俊行(学部教育支援室)

連絡先：医学教育学 中野 俊也 (E-mail: nakano@tottori-u.ac.jp)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	12/14(金)	1	121	自律神経調節の脳内機構	木場 智史	統合生理学	自律神経調節の脳内機構の解明研究の一端を紹介して研究アプローチの考え方を理解する。	交感神経系、運動、神経回路、心不全、オプトジェネティクス
2	12/19(水)	1	121	キャリア形成	山田 七子	卒後臨床研修センター	医師のキャリアパスについて理解する。初期研修、後期研修、専門医制度、研究(基礎・臨床)、プロフェッショナルリズム	医師のキャリアパス、初期研修、後期研修、専門医制度、研究(基礎・臨床)、プロフェッショナルリズム
3	12/21(金)	1	121	加齢・老化(1)	中野 俊也	医学教育学	加齢・老化による諸臓器、器官の変化を理解する。	加齢に伴う各臓器・器官の形態・機能の変化
4	12/28(金)	1	121	加齢・老化(2)	中野 俊也	医学教育学	加齢・老化による諸臓器、器官の変化を理解する。	高齢者医療の特異性、老年病
5	1/7(月)	4	121	発熱の生理学	渡邊 達生	統合生理学	発熱発現の機序を説明できる。	発熱、LPS、インターロイキン、プロスタグランディンE、視床下部
6	1/16(水)	1	121	発明薬(1)	植木 賢	新規医療研究推進センター	発明とイノベーションの違いを理解する。身のまわりの経験から、自ら発明してみようという興味・姿勢をもつ。過去の発明の成り立ちについて理解する。	イノベーション、内発的動機、外発的動機、自己実現理論、マズロー欲求6段階、発明を生み出す発想
7	1/18(金)	1	121	老化と遺伝子	中根 裕信	解剖学	老化に関わる遺伝子について早老症を通して理解する。	早老症(ハッチソン・ギルフォード症候群、コケイン症候群、ウェルナー症候群)、小児遺伝子生存者の早期老化
8	1/21(月)	4	121	発明薬(2)	上原 一剛	新規医療研究推進センター	医療機器の定義や医療機器規制の基本的な考え方が説明できる。医療機器の開発プロセスを理解する。特許制度の概要が説明できる。	医療機器、医療機器開発プロセス、医薬品医療機器等法、知的財産権、特許制度

教育プログラムデザインとの関連：2、3、4、5、6、7

学位授与の方針との関連：1、2、3、4

授業レベル：2

評価：定期試験62.5%。レポート37.5%。その他、講義中に小テストを行い、評価に加味する。